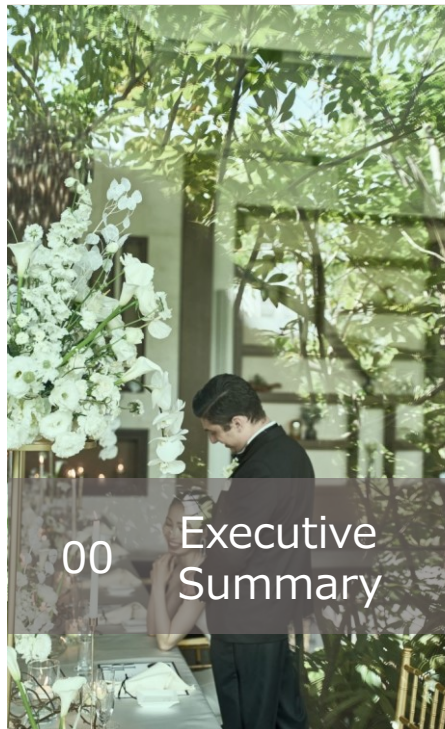


岩瀬：株式会社テイクアンドギヴ・ニーズの岩瀬でございます。2025年3月期、第3四半期の決算についてご説明いたします。



©TAKE and GIVE NEEDS Co.,Ltd.

1 投資効果好調。婚礼事業受注数 前年比100%超

- 直近問合せ数前年比+103.4% 受注数+103.1%
- 第4四半期受注残組数 前年同期比105.1%

2 各種KPI好調 第4四半期以降 前年比増益反転

- ホテル事業 稼働率90%台、平均客室単価80,000円台を維持
- 婚礼単価続伸 400万円を超過

3 2025年3月期 期末配当10円→30円

- 2025/1/8 株主還元方針を公表 (DOE指標3.0%以上)
- 堅調に利益を積み上げ、毎年の増配を目指す

最初に、決算のポイントをエグゼクティブサマリーとしてまとめております。

1点目、以前から申し上げておりますとおり、広告投資を強化した結果、婚礼受注が伸びております。足元1月から2月の問合せ数は、前年同時期比103.4%、受注数は103.1%と100%を超過しております。2点目、今期は広告費など投資先行のため、第3四半期まで前年比減益となっておりますが、第4四半期以降、増益に反転する見込みです。その前提として、ホテル事業の稼働率、ADR、婚礼事業の婚礼単価など、各種KPIは好調です。3点目、2025年1月8日に発表いたしましたとおり、2025年3月期期末の配当を10円から30円に上方修正しております。同時に、株主還元方針の強化も発表しています。

それでは、第3四半期の詳細をご説明いたします。

(百万円未満切捨て)

1-1. 第3四半期実績と業績予想

第3四半期累計は計画通りの着地
第4四半期以降 前年比増益反転見込み

■売上高

- ✓ 婚姻組数減少のマーケット環境下で、取扱組数減少を婚礼単価向上、ホテル事業伸長により補完

■営業利益

- ✓ 利益の期ズレが発生。
前年は、第4四半期に大幅投資をしたが、今期は、受注を稼ぐため、第2四半期から広告等、集客のための投資を実施し、コスト先行。

■通期見込み

- ✓ 当初計画通り
- ✓ ホテル事業のADR、稼働率、婚礼事業の単価、受注等、各種KPIは堅調。第4四半期以降、前年比増益に反転見込み。

単位:百万円	第3四半期累計			第4四半期予想			通期予想		
	2025/3 実績 (A)	2024/3 実績 (B)	前年比 (A-B)	2025/3 予想 (C)	2024/3 実績 (D)	前年比 (C-D)	2025/3 予想 (E)	2024/3 実績 (F)	前年比 (E-F)
売上高	35,422	35,273	+148	11,577	11,746	-169	47,000	47,020	-20
営業利益	2,895	3,978	-1,083	1,504	230	+1,274	4,400	4,208	+191
経常利益	2,455	3,613	-1,158	1,444	140	+1,304	3,900	3,754	+145
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,744	2,150	-405	255	▲318	+573	2,000	1,831	+168

*1 特別利益計上：2024年4月 固定資産譲渡（大分県土地・建物）譲渡益469百万円

5

ご覧のとおり、第3四半期は前年比増収減益となりました。期初から申し上げておりますとおり、婚礼事業の取扱件数は前年比で大きくマイナスしておりますが、婚礼単価が伸びていること、また、昨年9月にオープンした TRUNK HOTEL YOYOGI PARK の稼働も含め、ホテル事業の ADR や稼働率が好調であること。加えて、レストラン事業、婚礼運営受託事業などその他の事業も好調であり、増収となりました。

一方で、販売管理費は婚礼事業の減価償却費、人件費などの増加、また、先ほどサマリーでも申し上げましたが、今期は第2四半期から受注強化のために広告出稿を主とした投資を実施して、コストが先行しておりますため、減益となりましたが、その投資効果により受注が回復していることから、第4四半期は前年比増益見込みであり、通期の業績予想は据え置きといたします。

第1四半期から申し上げておりますとおり、経常利益の前年比と四半期純利益の前年比に大きく差異がございますが、これは固定資産の譲渡による譲渡益が4億6,900万円発生し、特別利益を計上しているためです。

サポート

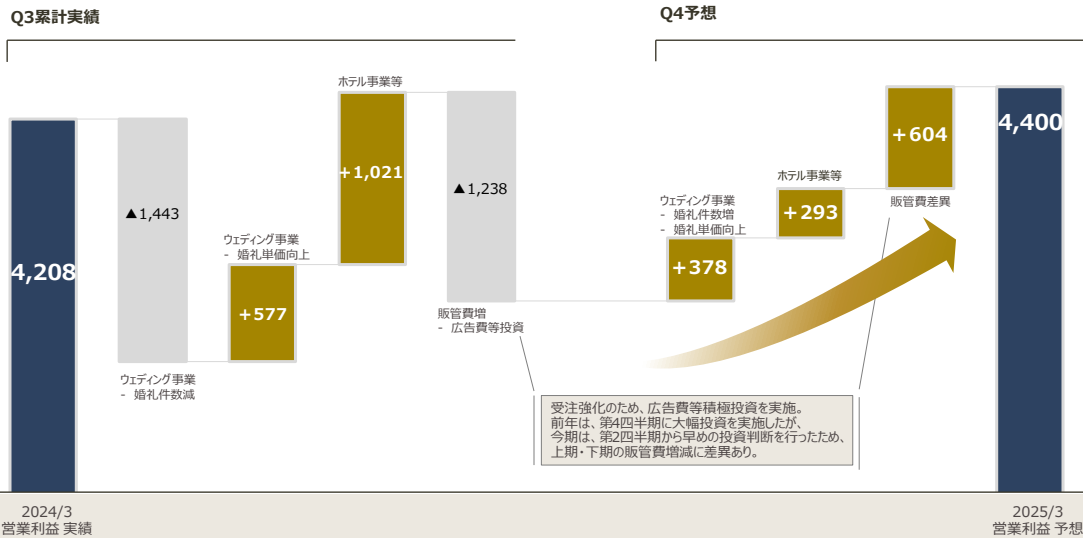
日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

1-2. 営業利益 前年比詳細

(百万円未満切捨て)

(単位：百万円)



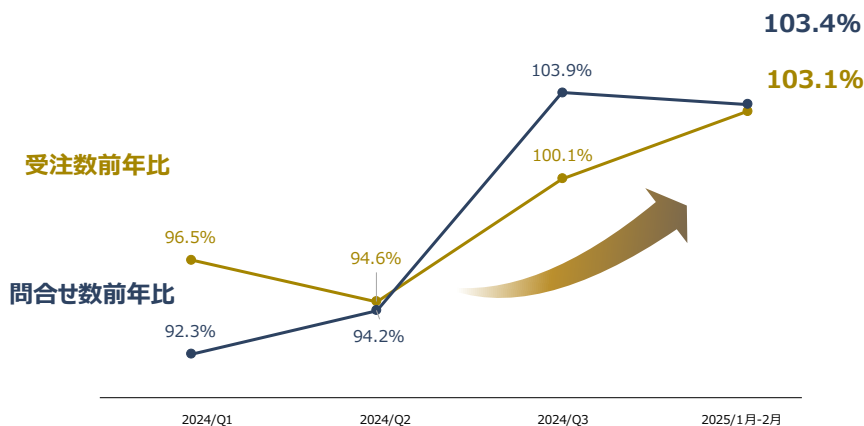
6

営業利益の前年比詳細をグラフにまとめました。

婚礼の取扱件数減少の影響が14億4,300万円と大きく、5億7,000万円ほど婚礼単価の向上で補完いたしましたが減益となりました。ホテル事業などは好調で10億2,100万円の増益となりましたが、広告投資など販売管理費の増加を含めグループ全体では減益となっています。

第4四半期以降はご覧のとおり、増益に転じる見込みです。

1-3. ウェディング事業 問合せ数、受注数好調



広告費等投資が功を奏し
第3四半期以降
問合せ数、受注数共に
前年比100%超

7

サポート

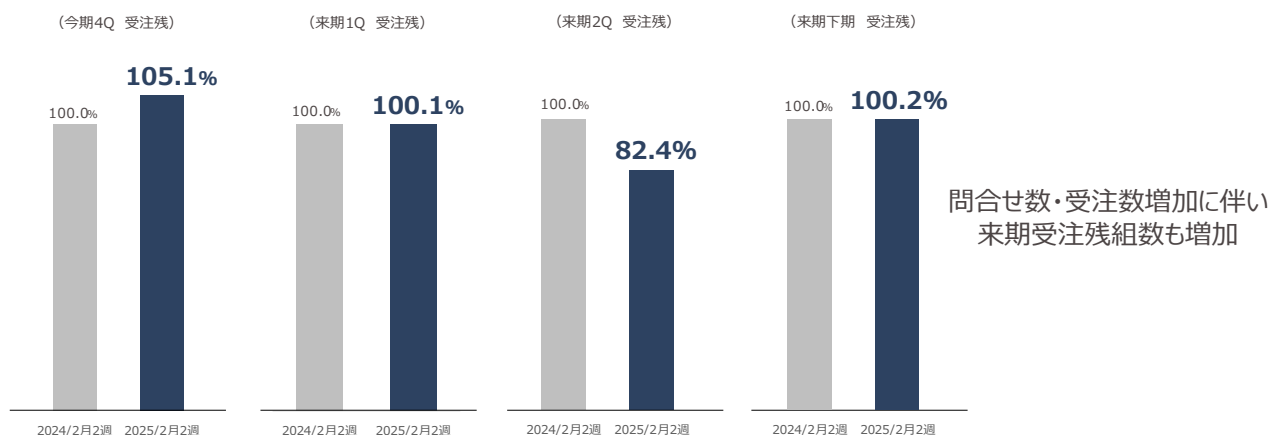
日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

先ほどからご説明しております受注回復の状況に関して、詳細をご説明いたします。

第2四半期以降、一定の広告投資が受注にプラスの影響を及ぼすと判断し、投資を強化いたしました。結果、グラフのように、第3四半期は問合せ数前年比103.9%、受注数100.1%、直近足元の1月、2月は問合せ数前年比103.4%、受注数は103.1%と上昇傾向になっております。

©TAKE and GIVE NEEDS Co.,Ltd.

1-4. ウェディング事業 受注残組数状況（前年同時期比）



8

受注残組数の状況はご覧のとおりです。

前のご報告時点では、第4四半期は前年比101.5%でしたが、受注の増加に伴い、現在は105.1%となっています。今回から来期の受注残組数を開示しておりますが、季節性変動もありながらも受注を積み上げています。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

1-5. ウェディング事業 重点施策リニューアル

広告投資に加え、リニューアルにより
受注件数増を目指す

種別	対象店舗数	1店舗あたり投資額	リニューアル内容
大規模リニューアル	1店舗 (前年比±0)	400 百万円	全館
中規模リニューアル	4店舗 (前年比±0)	60~85 百万円	チャペル・付帯施設等
部分リニューアル (家具入替等)	37店舗 (前年比+32)	~5 百万円	装飾備品・家具等

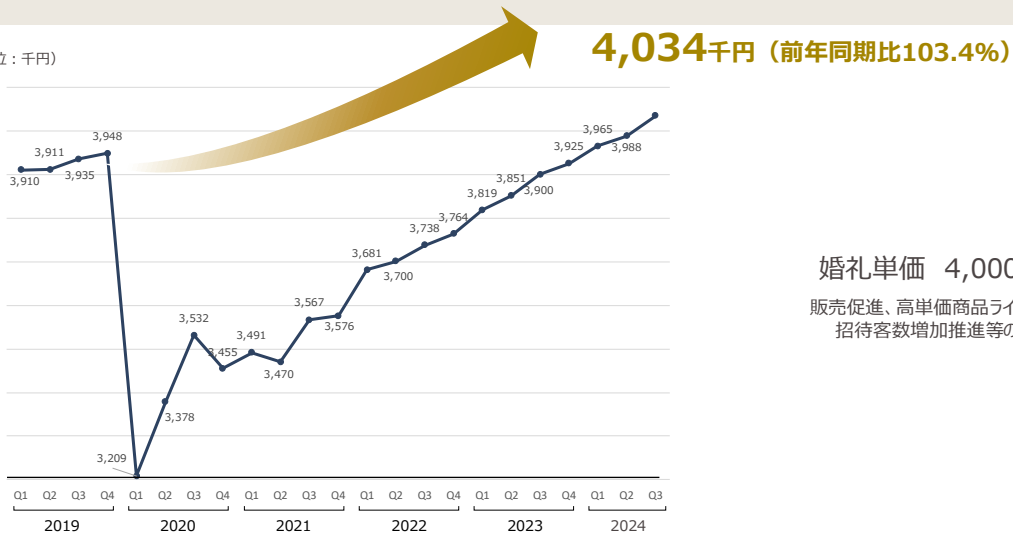


9

広告投資に加え、問合せ数増加のためのリニューアルも引き続き行っています。

1-6. ウェディング事業 婚礼単価状況

(単位：千円)



婚礼単価 4,000千円超過
販売促進、高単価商品ラインアップの強化、
招待客数増加推進等の施策が好調

*数値は四半期累計の推移

10

婚礼単価は、ついに累計で400万円を超過いたしました。

前年同期比では103.4%となっています。付加価値の高い商品づくりや招待客数の向上はもちろんですが、当社では打ち合わせにシステムを導入し、そのシステムによる販売促進も功を奏しています。お客様一人ひとりにマイページをお持ちいただき、そのマイページ上でお客様の趣向に合った商品がレコメンドされるなど、販売促進が体系化されていることも成功要因の一つとなっています。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

1-7. オートクチュールウェディング インバウンド需要増加

海外からの問合せ増

2024/12末時点の受注残、前年同時期比 180.0%

- 国内外の著名人の結婚式を数多く手がけてきた「T&Gオートクチュールデザインウェディング」。
- 既存の式場や形態を問わず、セレモニー、大規模パーティーまで幅広く対応。
- 昨年より、海外富裕層のお客様から、日本で行うウェディングの問合せが急増。
- 1パーティーあたりの単価は、1,000万円を超過。



引き続き、海外のお客様からの問い合わせも増えています。今期、既に受注している件数は、前年同期比で180%となっています。オートクチュールデザインチームが手がける海外富裕層のお客様の結婚式は、平均単価が1,000万円を超過する規模のものが多くございます。

©TAKE and GIVE NEEDS Co.,Ltd.

1-8. ウェディング事業 新規運営受託先の決定

NISHITETSU GRAND HOTEL
西鉄グランドホテル
SINCE 1969

所在地 福岡市中央区大名2-6-60
披露宴会場数 4会場
挙式会場数 2会場（チャペル1 神殿1）

婚礼運営受託事業 新規決定
2025年2月スタート



12

自社施設ではなく、他社様の施設の婚礼運営受託も推進しております。

2025年2月から、新たに福岡の西鉄グランドホテル様から婚礼部門の運営をお任せいただけることになりました。

サポート

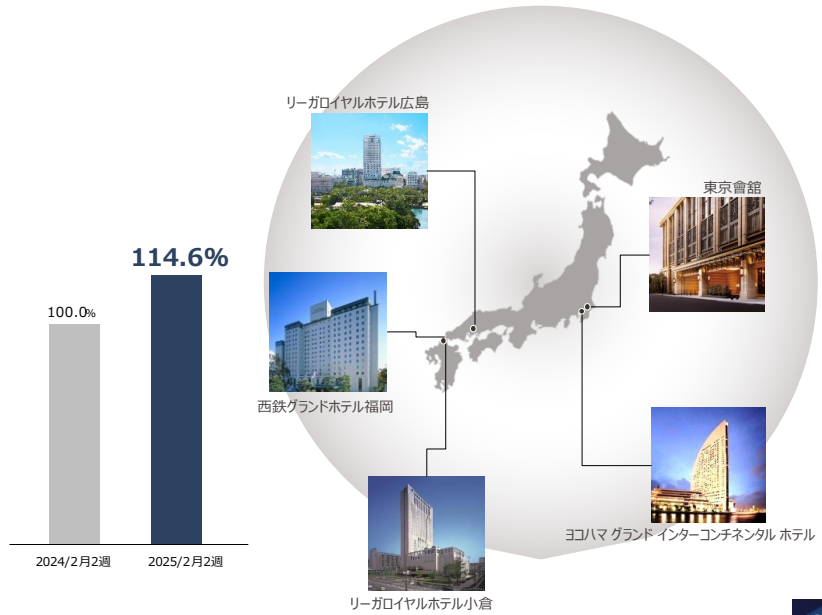
日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



1-8. ウェディング事業 運営受託の受注残組数状況（前年同時期比）

提携先の受注向上
今後も、提携会場数増加を目指す



婚礼運営受託の受注残組数も順調です。現時点で、前年同時期比 114.6%となっています。

1-10. ホテル事業好調 各種KPI



CAT STREET (渋谷区神宮前)

■稼働率

94.2%

(前年同時期比 + 1.2%)

■平均客室単価

87,292円

(前年同時期比 + 6,763円)

YOYOGI PARK (渋谷区富ヶ谷)

■稼働率

95.3%

(前年同時期比 + 14.2%)

■平均客室単価

88,679円

(前年同時期比 + 11,900円)

* 数値は全て、2025/3 第3四半期累計実績
* YOYOGI PARKは、2023年9月OPEN

ここからは、ホテル事業に関してご説明いたします。

各種 KPI は、ご覧のとおり極めて好調です。非常に高い稼働率を維持しながら、1号店である TRUNK HOTEL CAT STREET の ADR は、前年同時期比 6,763 円プラスの 8 万 7,292 円となっています。2号店である TRUNK HOTEL YOYOGI PARK は、95.3%という高い稼働率を維持しながら、ADR も 8 万 8,679 円の高水準を維持しています。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

TRUNK HOTEL が高い稼働率、ADR を実現できている一つの要因として、海外での認知が高く、宿泊客の外国人比率が高いというものがあります。

その理由は、一般的な広告や宿泊予約サイトでの集客に頼るのではなく、世界的なアワードを受賞し、そのニュースが各地のメディアに掲載され、情報の拡散を図るという独自の PR 戦略に成功しているためです。

1-11. ホテル事業Topics

AHEAD Globalでも日本のホテルとして初の Top10入賞

- AHEAD Globalでは、Asia, America, MEA, Europe各地域の受賞ホテルから最高栄誉賞が選出され、TRUNK(HOTEL) YOYOGI PARKが全世界で第4位を受賞
- 2023年度から開始されたAHEAD Global Top10において、日本のホテルとしては初めての入選
- 2024年度のAHEAD Globalでは、アジアから唯一の受賞。東京の伝統とモダンさを絶妙なバランスで表現したデザインの調和や、ホスピタリティデザインにおいても、地域社会との結びつきが感じられる点が高く評価された。



前回、TRUNK が世界的なアワード AHEAD Asia にて最優秀賞となり、HOTEL of the Year 2024 を受賞したことはお伝えいたしましたが、Asia だけではなく、AHEAD America、Europe など全世界の受賞ホテルにおける最高栄誉賞 AHEAD Global にこの度選出され、TRUNK HOTEL YOYOGI PARK は第 4 位を受賞いたしました。日本のホテルとしては、AHEAD Global で Top10 入選は初めてのことになります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

1-12. ホテル出店予定

日本を代表する
グローバルホテルブランドを目指し
出店開発を推進

01.

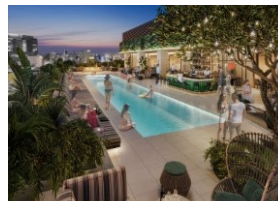


2027 Spring OPEN

TRUNK(HOTEL) SAPPORO (仮称)

客室数 100~110室
北海道 札幌市中央区南2条西4丁目

02.

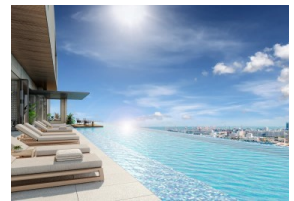


2027 Summer OPEN

TRUNK(HOTEL) DOGENZAKA (仮称)

客室数 120~130室
東京都 渋谷区道玄坂2丁目

03.



2028 Spring OPEN

TRUNK(HOTEL) KOBE (仮称)

客室数 60~70室
兵庫県 神戸市中央区雲井通5丁目

21

今後の出店予定に変更はございません。引き続き、出店開発を推し進めてまいります。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2-1. 連結損益計算書 概要

売上高・売上総利益は堅調に増益
 広告投資等強化により減益

■ 売上高		
✓ (前年比) 婚礼事業の取扱件数減少	▲約2,300百万円	
婚礼単価上昇	+約 800百万円	
新店ホテル通期稼働	+約 800百万円	
婚礼運営受託、その他事業等	+約 850百万円	
■ 販管費		
✓ (前年比) 婚礼事業の減価償却費、広告投資等増	+約 700百万円	
ホテル新店、稼働率上昇に伴う販管費等	+約 400百万円	
その他事業 稼働上昇に伴う販管費増	+約 200百万円	
■ 親会社株主に帰属する四半期純利益		
✓ (特別利益) 固定資産譲渡益 (大分県の土地・建物)	469百万円	

(百万円未満切捨て)

単位：百万円 (%：売上高比)	2025/3 第3四半期 実績	前年同期	
		実績	増減
売上高	35,422	35,273	+148
■ 国内ウェディング事業	34,313	34,388	-74
TRUNK(HOTEL)	4,924	4,142	+781
■ その他	1,109	885	+223
売上総利益	23,688 66.9%	23,444 66.5%	+243 +0.4pt
販管費	20,792 58.7%	19,466 55.2%	+1,326 +3.5pt
営業利益	2,895 8.2%	3,978 11.3%	-1,083 -3.1pt
経常利益	2,455 6.9%	3,613 10.2%	-1,158 -3.3pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,744 4.9%	2,150 6.1%	-405 -1.2pt

23

ここからは、連結計算書についてご説明いたします。

売上高 354 億 2,200 万円、前年比 1 億 4,800 万円の増収、売上総利益 236 億 8,800 万円、前年比 2 億 4,300 万円の増益となりました。利益率の高いホテル事業が大幅に伸びている影響で、グループ全体のトップラインを稼ぐ力は強くなっています。

今後の増益のため追加投資を実施したこともあり、販売管理費は前年比 13 億 2,600 万円増加し 207 億 9,200 万円、営業利益 28 億 9,500 万円、経常利益 24 億 5,500 万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 17 億 4,400 万円と、いずれも現時点では前年比減益となっています。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2-2. 国内ウェディング事業 内訳

平均人数の増加比率以上に婚礼単価上昇
ホテル事業好調

単位：百万円 (%：売上高比)	2025/3 第3四半期 実績	前年同期	
		実績	増減
売上高	34,313	34,388	-74
直営店婚礼 (TRUNK含)	29,203	30,443	-1,239
■取扱件数 (件)	7,194	7,815	-621
■平均単価 (千円)	4,034	3,900	+134
■平均人数 (人)	60.3	59.4	+0.8
コンサルティング	1,219	969	+250
■取扱件数 (件)	1,735	1,535	+200
宿泊、レストラン、等	3,889	2,974	+914
売上総利益	23,116 67.4%	23,010 66.9%	+105 +0.5pt
営業利益	4,162 12.1%	5,268 15.3%	-1,105 -3.2pt

24

続いて、国内ウェディング事業の詳細です。

当セグメントの売上高は、前年同期比 7,400 万円減の 343 億 1,300 万円、取扱件数は、前年同期比 621 件減少し 7,194 件、単価は平均人数が 0.8 名増加したことに加え、販売促進も順調なため、前年同期比約 13 万円増の 403 万 4,000 円となりました。

売上総利益は、前年同期比 1 億 500 万円増の 231 億 1,600 万円、営業利益は、11 億 500 万円減の 41 億 6200 万円となっています。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2-3. 連結 貸借対照表（資産の部）

第1四半期より、優先株式取得・消却
不動産売却等により総資産減少
財務体質改善

(百万円未満切捨て)

単位:百万円	2024/3末	2024/12末	増減
流動資産	14,750	12,986	-1,764
現金及び預金	9,399	7,719	-1,680
固定資産	39,629	38,697	-931
有形固定資産	29,921	29,088	-833
無形固定資産	375	363	-12
投資その他資産	9,331	9,245	-86
資産計	54,380	51,683	-2,696

25

連結の貸借対照表はご覧のとおりです。

不動産の売却や優先株式の取得・消却など総資産が約 26 億円減少し、資産のスリム化、財務体質の改善を図っています。

2-4. 連結 貸借対照表（負債・純資産の部）

有利子負債 計画通り返済
自己資本比率上昇

(百万円未満切捨て)

単位:百万円	2024/3末	2024/12末	増減
負債合計	37,416	35,316	-2,100
流動負債計	13,789	13,622	-166
短期借入金	640	1,360	+720
1年以内返済予定 長期借入金	5,350	5,086	-264
固定負債計	23,626	21,693	-1,933
長期借入金	16,949	15,054	-1,894
純資産計	16,963	16,367	-596
負債・純資産計	54,380	51,683	-2,696
有利子負債	22,939	21,500	-1,439
自己資本比率	31.2%	31.7%	+0.5pt

26

負債・純資産の部は以下のとおりです。

有利子負債は前期末に比べて約 14 億円減少、引き続き計画的に返済できています。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

2-5. 配当予想

2025/1/8 公表
2025年3月期 配当予想上方修正

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	通期
2025/3 予想	—	30円	40円
2025/3 実績	10円	—	—
2024/3 実績	10円	10円	20円

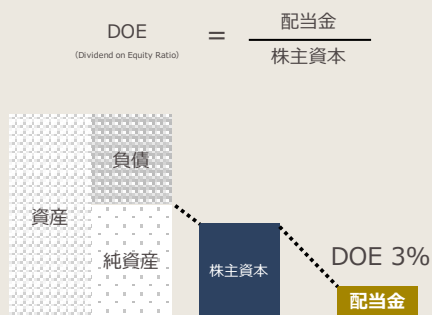
2023/3 実績	0円	20円	20円
2022/3 実績	0円	0円	0円
2021/3 実績	0円	0円	0円
2020/3 実績	10円	10円	20円

27

2025年3月期の期末配当予想に関しては、1月8日に発表いたしましたとおり、10円から30円に上方修正いたしました。

2. 株主還元方針の変更

DOE指標（3%以上）を導入します



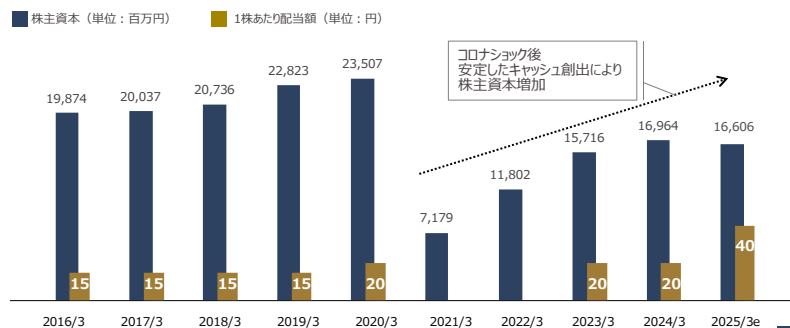
変更前

継続的な成長を実現するための投資を行いつつ、安定的な配当額を維持する

変更後

継続的な成長を実現するための投資を行いつつ、安定的な配当額を維持するという基本方針を前提として、**株主資本配当率（DOE）3%以上を指標とする**

株主資本と1株あたり配当額推移



※ 2024年4月に優先株式（2,000百万円）を取得、償却。それに伴い、優先配当も終了。

28

株主還元方針に関しても、従来は安定的な配当額を維持するという方針に留まっていたのですが、今後は配当方針として、株主資本配当率 DOE 指標を導入し、DOE3%以上を目標と明示いたしました。

2022年3月期以降、順調に売上を増加し増益を重ねておりますが、これまで同様に確実に利益剰余金を積み上げれば来期以降も株主資本が増加し、継続的に増配ができる。そのことを鑑みて、DOE という方針

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

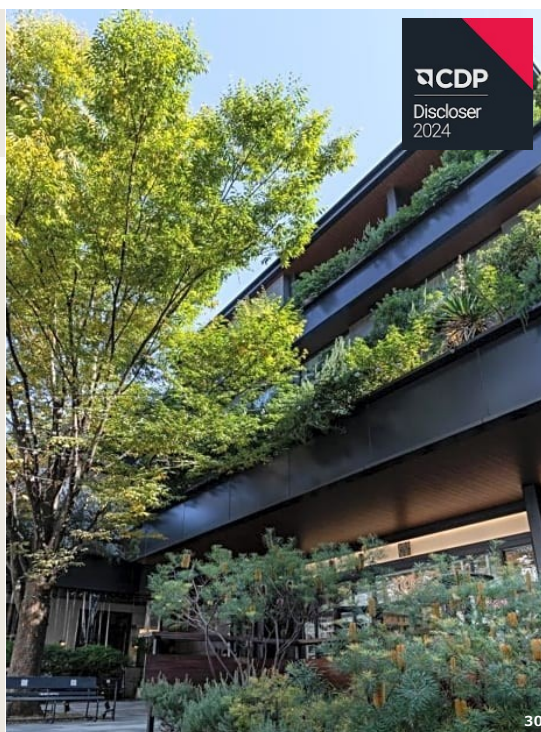
を採用いたしました。配当性向よりも、利益の変動による影響を受けにくく、株主の皆様安心して当社の成長を応援していただけると考えています。

3-1. Topics

CDP気候変動プログラムに初参加

「B」スコアを取得

- 気候変動情報開示に対する活動を評価するCDP（カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト）
- CDPは、環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や主要購買企業の要請に基づき、企業や自治体に、気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に対して情報開示を求め、それを通じて対策を促す国際的な非営利団体
- 2024年は世界の時価総額の66%以上、24800社が参加、日本のプライム市場上場企業の7割を含む2,100社が参加。当社は、予めから環境に配慮した取り組みを、商品、サービスなどあらゆる運営に取り入れその情報開示も積極的に行ってきたことが評価され、A~Dの8段階において、初参加でBスコアを獲得



ここからは、最近のトピックスをいくつかご紹介いたします。

CDP 気候変動プログラムに参加し、Bスコアを取得することができました。ソーシャライジングをコンセプトに掲げる TRUNK HOTEL CAT STREET を筆頭に、事業運営のさまざまな側面で環境に配慮した施策を取り入れ、その取り組みを開示する姿勢が評価されたと考えています。

サポート

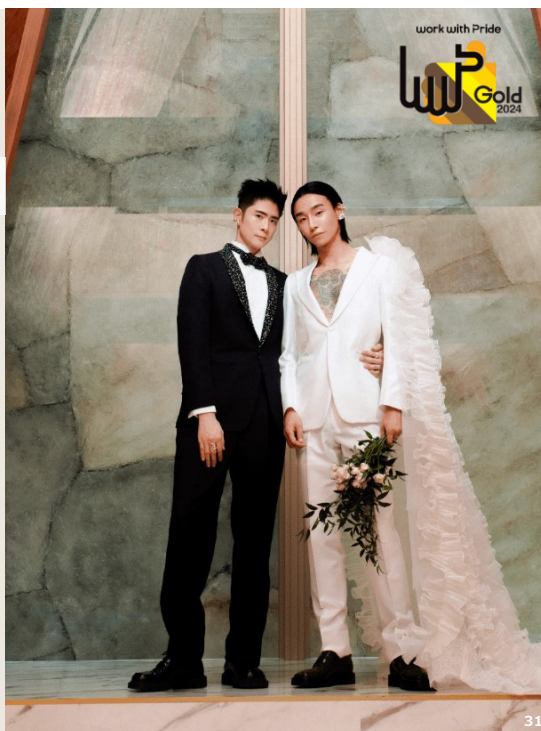
日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

3-1. Topics

LGBTQに関する取り組みを評価する 「PRIDE指標2024」ゴールド認定

- LGBTQにとって働きやすい職場づくりを実現することを目的に、任意団体「work with Pride」により2016年に策定された指標。
- Policy（行動宣言）、Representation（当事者コミュニティ）、Inspiration（啓発活動）Development（人事制度・プログラム）、Engagement/Empowerment（社会貢献・渉外活動）の5つの基準の頭文字5文字を取った指標で評価され、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」認定の3段階。
- あらゆるカプルのウェディングをお手伝いしたいと考えたことから、2014年から社内研修をスタート
- 近年には、NPO法人虹色タイパシティ理事長 村木真紀氏を社外取締役を迎え、社内の制度構築や理解促進のための取り組みを実施
- 2023年には、世界的に有名なボーイズカップルTaiki & Noahをメインモデルに起用し、性別や年齢にとらわれない自由で新しいウェディングスタイルの提案を始めている
- 全国的に式場を展開するブライダル事業者としての認定は、初（2024年11月時点自社調べ）



31

LGBTQの方々にとって働きやすい職場づくりを実現することを目的に、任意団体 work with Pride 様が策定されている指標、PRIDE 指標 2024 において、ゴールド認定を取得することができました。

3-1. Topics

D&Iに取り組む企業として表彰 「D&I Award 2024」アドバンス認定

- ダイバーシティ & インクルージョンに取り組む企業を認定・表彰する日本最大のアワード
- 4段階のうち、上から2番目の「アドバンス」に認定。
- 女性社員比率が60%を超えるT&Gグループでは、オンラインビル処方や、卵子凍結費用の補助など、先進的なサポート制度を導入し、育児等との両立を叶え、女性が活躍。女性の部門責任者比率は36.4%
- LGBTQや障がい者雇用、外国人雇用など、多種多様な人材が活躍できる環境の推進に取り組んでいます。
- 全国的に式場を展開するブライダル事業者として、D&I Awardの認定は、初（2024年12月時点自社調べ）



32

ダイバーシティ&インクルージョンに取り組む企業を認定・表彰する日本最大のアワード、D&I AWARD 2024 において、アドバンス認定を取得することができました。

サポート

日本 050-5212-7790

フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

質疑応答

岩瀬 [M]：最後に決算発表後、投資家の方々からいただいた代表的な質問に回答いたします。

質問者 [Q]：一つ目の質問です。来期の業績をどのように考えているのか。

岩瀬 [A]：開示いたしました受注残組数や足元の婚礼事業の受注の回復およびホテル事業の好調さから、トップラインに関しては確実に明るい兆しが見えています。一方で、既に開示しておりますとおり、いくつか閉店も決断しております。また、これからもまだまだ婚姻件数は厳しい状況が続くであろうと想定しておりますため、来期、再来期の受注を伸ばすための投資のアクセルをいつ踏むかという判断や、リニューアルまで大規模なものではなくても、設備のグレードアップやシステムの性能強化など、ホテル事業の本格スタート前に実施しておきたい投資をいつ行うのか。これから難しくなっていく人員確保のための人的投資をどこまで行うかといった長期的視点も必要な局面にあります。

トップラインの伸長が期待できる中で、投資をどこまで実施するか、また株主の皆様にお約束している還元もしっかり行わせていただく。それら全体のバランスを経営陣一同しっかり判断し、次の決算にてご説明をさせていただけるよう、現在計画を策定中でございます。

質問者 [Q]：二つ目の質問です。受注は今後も増加傾向が続くのか。

岩瀬 [A]：広告投資が功を奏すということは一定の成果が出ており、手応えを感じています。しかしながら、期を追うごとにベースが上がっていくため、その分伸び率の低減は必須であり、どこかで限界点が訪れると想定して、どこが投資の損益分岐なのか、限界を迎えたときに、そのほかどういった選択肢で利益を伸ばすのか、既に検討を始めています。

広告投資の限界を見据えて、現在、広告投資をして受注している従来のターゲット層とは異なるセグメントへのアプローチやインバウンドへの広がりなど、次の展開をご期待いただけるよう、各種施策を進めてまいります。

質問者 [Q]：最後、三つ目のご質問です。新しく出店予定の三つのホテルは、今と同様なターゲット、客室単価の想定なのか。

岩瀬 [A]：出店する地域、周辺環境によって、もちろん戦略は異なります。地域によっては、外国人の方々に集中する形ではなく、日本人とインバウンド 50%ずつというような想定の場合もあるかもしれません。しかしながらどの地域においても、前提として高価格帯で高品質なブティックホテルというコンセプトであるため、その地域における高価格帯の客室単価を目指し、デザイン性に優れ、感度の高いお客様にご利用いただけるホテルという領域を目指していることには変わりございません。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



以上でございます。引き続き、企業価値向上に向け尽力してまいります。最後までご視聴いただきありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用をしてはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

